
書きたいこと書いてみた。

スコッティ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

書きたいこと書いてみた。

【Nコード】

N4740J

【作者名】

スコッティ

【あらすじ】

思いついたこと書いてみました。

おもに詩です。

若干偏りがあるかもしれませんが、テーマは不統一です。

いろいろなジャンルがあるので、暇なときにでもどうぞ。

80年の道

一体、どれほどの長い間ここにいるのだろう。

ここは人の往く道。目の前には確かな道が続いている。

なのに、足が動かない。何故だか、動かない。

みんなは背中を見せながら、先へ行ってしまった。
急がなければ取り残されてしまう。

すこし、深く息を吸って、はいてみる。

…、これでいいのだろう。きっといい。

みんなの背中を見送っている方が自分らしい。見送りたい。

また、一人に追い抜かされた。

その背中を見つめながら思った。

一体どれほどの永い間ここにいられるのだろう。

自分の事

もう生きていけないなんて思うほどの痛みも、みんな同じ物を背負ってゐるから

なんて無理して強がって。

薔薇色の未来を想像して

空しさが襲ってきて。

誰かの顔色を気にして

人と生きるのに疲れて。

優しいから

我慢して。

人を傷つけたら

それ以上に自分が傷ついて。

時々感じる孤独が

心地よくて。

それが生きることだと月が教えてくれたら

それがあんたの決めた生き方だと雨が泣いてくれたら

少しは楽になるだろう。

でも、そんな自分が嫌いじゃない。

それが生き様。

決めたからこそ貫き通す一本道。

自分で自分を否定して、そんなんで感傷に浸ろうとしている時間はもう過ぎた。

それが、今の見解。

次の発見のため。今の自分から変わるため。

そのために動き出す。

明日はきっと、晴れた日の空の下で、上手くやってけるだろう

遠すぎた理想郷

理想を抱いたまま死にたい。

未来の可能性なんて言葉をよく聞くけど、何にも考えず生きている俺には関係ない話した。

現実なんて見ても、
未来なんて見ても、
希望なんてありやしない。

だったら、いっそのまま死んでしまった方がいいのではないかなどと考えてしまうのも道理だ。

理想なら求めてる。

しかし、実現する見込みはない。

だから、見える。

過去は見える。

しかし、それは意味がない。

夢を掴んだ奴等に言いたい。
よくがんばった、と。

夢を掴めなかった奴等に言いたい。
俺みたいにはなるなよ、と。

俺は言いたい。

俺は死ぬよ、と。

でもそれは、逃げるためじゃない。
理想を夢を、守るためなんだ、と。

遠すぎた理想郷（後書き）

未練たらたらな今日この頃。

叫べっ！

Oh Yeh 神様

願わくはみなを崇めさせたまえ みくにを来たらせたまえ

みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を今日もあたえたまえ。

我らに罪をおかすものを、我らが許すごとく、我らの罪をも許したまえ。

国と力と栄えとは限りなく汝の物なればなり

ヒヤーハー

クタバレニンゲンドモ！

聞きたいのはそんな言葉じゃないんだよ！

お前のほんとの心の叫びが聞きたいんだあああああつ！

それにしても少し疲れたので、7日間に一度と言わず、数千年休ん

できます。

なので願いは聞き届けられません。

ご了承下さい。

叫べっ！(後書き)

祈りは間違えている気がしないわけでもないので、気を付けて

午後ティータイム

君は生きるのが辛いと言っていたけど、一体それがどうしたんだい。心にキズを負ったのは君が覚悟して前へ進むと決めたからじゃないの。

ううん、それは違うの。

私は覚悟なんて勇ましいこと、した覚えはないよ。

じゃあなんで君は言ったんだい。

皆が私をキズつけて行くの。

皆が私を蹴飛ばして、踏みつけて行くの。

私はそれがすごく痛い。

それは、何の例えだい。

人の例えだよ。

人は皆、キズ抱えて生きていくって言うけれど、私は私。私は私だけのキズを癒しながら生きていく。

それはなに？

そういうことじゃない？

そっか、そうだね。

きつと解決は無いんだよね。

人だから生きるんだよね。

死んだ時のことを考えると怖いから、キズは僕を安心させる。

人生は薔薇の道だからほんの少し開けた所で立ち止まってしまおう。

歩き続けなきゃいけないの？

もしかしたら、そうかもしれないね

人間賛美

どこかここじゃない所にうまれたかったとか、男はいやだったとか、女はいやだったとか、背が伸びないとか、こんな顔は嫌だとかなんて考えるのは、人間を生きてるから。

したい、居たい、苦しい、悲しい、楽しい、嬉しい、怖い、むかつく、ばか、ぼけ、こんなにやろう、くず、ごみ、お調子者、涙もろい人、無口な人、好き、嫌い。

そんなのも人間。

疲れたら休めばいいし、寄り道したけりゃすればいいし、強がって生きても、他人を憎んでもいい。

好きに生きるのが人間。

過去の栄光や青春今に持ってこれないから、人間が紡ぐのは未来。

好きな未来を選ぶのが人間。

人間賛美（後書き）

引きこもりたい…

それについて

優しさって所詮はまやかしの？

涙は悲しい？

喜びは一瞬？

笑顔は死ぬ？

夢は何なに？

星は瞬くの？

町は廃れるの？

人間はどうして老いるの？

自分以外の物が全て輝いて見えるのは、どうして？

なんでこんなになにも感じないんだろう？

世界はどうして綺麗なんだろう？

みんなが認めてくれないのは何故なんだろう？

隣に居るのは誰？

なにが疲れたの？

辛いのはどうして？

何をしたいの？

優しくしてほしい？

見つめてほしい？

抱きしめてほしい？

知りたい？

今じゃもう分からないことばかりだ

トニー

十年後ねんど二十年ごの自分はこうなっているなんて考えていた。

想像していたのは常に、理想の自分だった。

そんな自分になれたろうか？

何になりたかったのかは、覚えている。

本当に夢を抱き続け、それを実現させることの辛さや無謀さは周知だろう。

だからこそ夢を叶えた人たちに、ある者は尊敬し、また、ある者は嫉妬する。

夢を叶えた者は何を思うのだろう。

幼い頃描いた夢。

空を飛びたい。早く大人になりたい。

そんなことを考えていた時期が、どうも眩しい。

あい（前書き）

一週間、何もしないで物思いに耽りたい。

あい

今の自分。

未来に持って行きたい自分。

人のために生きていけたらと思う自分。

自分の首をしめる自分。

自分が好きな自分。

悩む自分。

無知な自分。

他の人より優れた自分。

可能性を秘めた自分。

ちょっと違った自分。

笑う自分。

泣く自分。

もがく自分。

嫌いな自分。

自分の事は自分が理解してなきやならないのに、なぜか、自分を探してみた。

他の人の好きな所はあるのに、自分の好きな所を探すのは、少し難しかった。

でも、久しぶり素顔の自分を見た気がした。

あい（後書き）

最近になって、昔嫌いだった綺麗事の大切さが分かった気がする。
他人を見てて思うけど、人って変わってく。

自分はどうかと思ったけど、やっぱり変わったのかなって思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4740j/>

書きたいこと書いてみた。

2011年10月6日03時28分発行